

# 表紙制作にあたって

こんにちは。琉球大学エコロジカル・キャンパス学生委員会です。  
今年も環境報告書の表紙制作を担当させていただきました。  
今年の表紙のテーマ「沖縄の海の表と裏」に込めた思いを紹介したいと思います。

## 沖縄の海の表と裏

今年環境報告書の表紙は、沖縄の海をイメージして、当委員会のメンバーが撮影したさまざまな写真をタイル状に配置しています。

まず、沖縄の綺麗な海を表現するために、全体的に明るく綺麗な写真を使用しています。使用している写真は全て沖縄の海やビーチ、海岸で撮影したものとなっており、海の写真だけでなく、海辺に咲く花や生き物の写真を配置することで、沖縄の自然の豊かさを表現しました。その一方で、表紙の端々には、ビーチに落ちているゴミが写った暗い雰囲気の写真が配置されています。これは、「一見綺麗に見える沖縄の海にも、普段は目につかないようなゴミが落ちている」ということを表しており、一見分かりづらい配置・デザインにすることで、意識を向けて見ないと見えてこない沖縄の海のゴミ問題を表現しました。

沖縄の海には、島民や観光客が捨てているゴミはもちろん、どこかの国から流れ着いてきたものや自然に分解されないマイクロプラスチックが大量に落ちています。このようなゴミが景観だけでなく、沖縄の豊かな自然や生態系の破壊につながっています。この問題から目を逸らさず、意識を向けてみることで、沖縄の海を守ることに繋がっていくのではないのでしょうか。



エリグロアジサシ\*の卵



ゴミの分別方法を調べている様子



ビーチクリーンに参加した学生達



ビーチクリーン後の集合写真

※絶滅危惧種(II類)に指定されている、チドリ目カモメ科アジサシ属の鳥類

表紙制作：藤本 基慎（工学部工学科知能情報コース 3 年次）  
阿部 泰知（国際地域創造学部国際地域創造学科経済プログラム 3 年次）  
山下 想（国際地域創造学部国際地域創造学科経営プログラム 3 年次）